

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

さいたま市立 指扇中学校

学校教育目標「自信と誇りに満ちた指中生」

本校は、教職員、生徒ともに SDGs17 の目標を様々な教育活動の場面で、意識しながら ESD（持続可能な開発のための教育）を推進しています。将来招くであろう課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む教育活動を通じて、「ESD の考えを生かした、自ら学び、考え、行動できる生徒」の育成に取り組み、「自信と誇りを持って生きていける生徒」の育成を目指しています。



■所在地：さいたま市西区西大宮 3 - 31 - 1 ■電話：048-624 - 6234

■FAX：048-624 - 2479 ■交通：JR埼京線西大宮駅北口徒歩 10 分

01 SDGs 17 の目標を意識した教育活動の推進

SDGs 17 の目標の共有と生徒会からの情報の発信



本校では SDGs 17 の目標を教職員や生徒と共有するために階段を活用した掲示物や生徒会からの情報の発信と

して、掲示物の作成などを実践し、学校内で SDGs 17 の目標を意識化できるように取り組んでいる。また、総合的な学習の時間、学級活動、学校行事や生徒会活動の中で生徒が自ら考えたり、議論したり行動する場面を多く設定しています。



02 国際教育（多文化共生）の充実

外国人講師から学ぶ異文化と多文化共生



グローバル人材派遣センター埼玉より、外国人講師を招き、世界の国々の文化や生活を知り、日本の文化や生活と比較しながら、多文化と共生するために必要なことを学びました。こうした活動を通じて、SDGs の目標の①「貧困をなくそう」⑩「人や国の不平等をなくそう」に貢献していきます。



03 地域の人材を活かした教育の推進

地域の活動への参画と地域の人材活用を通じた教育活動の推進



地域のお祭りや公民館主催の様々な活動な

どに生徒が参加したり、地域の方に文化祭の体験講座の講師として参画してもらい、地域の方との交流を通して、様々な学びや人間性を育んでもらっています。このような活動を通して SDGs の目標の④「質の高い教育をみんなに」⑪「住み続けられる街づくりを」⑫



「パートナーシップで目標を達成しよう」に貢献していきます。

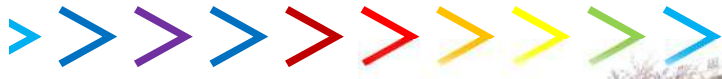
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を推進しています。



さいたま市立
馬宮中学校



- 1 言語活動の充実と基礎学力の向上
- 2 生徒の豊かな心の育成と主体的活動の充実
- 3 健康で安心・安全な学校生活の推進
- 4 情報公開と保護者・地域等との双方向コミュニケーションの促進
- 5 小・中一貫教育の推進と充実



■所在地：さいたま市西区二ツ宮 589-1 ■電話：048-624-0623
 ■FAX：048-624-2131 ■交通：大宮駅西口から 西武バス指扇駅行き 市営住宅前下車 3分

01 「魅力ある、活気ある学校づくり」生徒会組織を中心としたSDGsへの取組



生徒会本部では、いじめや男女平等への意識付けとして、全校生徒に向けて劇とクイズを作成しました。また、近隣小学校と連携し、地域でのいじめや差別撲滅に向けての意見交換もしました。その他の各委員会では、SDGsの目標達成

に向けた取組を実施しています。

- ①**生徒会本部** 目標 5,10 いじめ撲滅や男女平等社会をテーマにした仲間を助ける委員会（PSC）の設立
あいさつ運動
- ②**学級委員会** 目標 10,17 クラスでいじめ0を目指し、継続するために声かけ、あいさつ運動
- ③**生活委員会** 目標 10,16 よりよく授業を受けられる環境を目指した声かけ、授業評価の聞き取り
- ④**体育委員会** 目標 3 日本一の体育授業を目指す授業規律
- ⑤**保健委員会** 目標 3,6 感染症予防に向けたポスターづくり 手指消毒や検温等の健康管理
- ⑥**整美委員会** 目標 6,11 誰もがきれいに安心して使える学校を目指した清掃・美化活動
- ⑦**給食委員会** 目標 2 残食0運動 食材に関する豆知識ポスターの作成
- ⑧**放送委員会** 目標 4 自主的・主体的な活動を目指した放送活動 豆知識のコーナー
- ⑨**図書委員会** 目標 4 読書マラソンの実施
- ⑩**仲間を助ける委員会** 目標 10,17 いじめを許さない集団を作るための話し合い



<生徒会本部による生徒会朝礼>



<近隣小学校児童との話し合い>



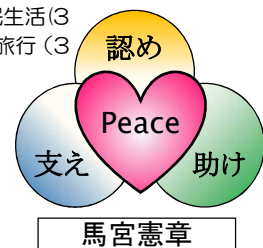
<いじめ撲滅に向けた掲示物>

02 人権教育の視点からの取組（「馬宮憲章」を軸に）



本校の生徒は、純朴で素直な反面、自分を取り巻く環境（特に人的な）の持つ問題を意識することが不足している生徒もいます。本校では、生徒会で定めた「馬宮憲章」の「認め（合い）、支え（合い）、助け（合い）」の精神を軸に人権教育に取り組んでいます。昨年度は以下のように取組みました。

- 4月 「学級びらき」「人間関係プログラム」による集団と個人の関係付け、相互理解・尊重
- 6月 社会科「江戸時代の身分制度（2年）」「大正デモクラシー（3年）」でのわが国での人権史、体育祭に向けた取組での相互理解・尊重、「修学旅行（3年）」取組を通しての相互理解と尊重
- 6月 人権作文・人権標語への取組・応募、社会科「古代の人々の暮らし（1年）」「戦時下の国民生活（3年）」、いじめ撲滅月間の取り組み、馬宮憲章紹介「認め合い、支え合い、助け合い」、「修学旅行（3年）」取組を通しての相互理解と尊重
- 7月 社会科「人権と日本国憲法（3年公民）」で日本国憲法における基本的人権
- 8月 校内研修会で教職員向けに人権教育主任研修会の内容伝達
- 9～11月 各種行事に向けた取組を通しての相互理解と尊重
- 12月 人権週間での全校授業（講話、ビデオ視聴、人権作文、人権標語の発表・掲示）
- 1～2月 「未来くるワーク（1年）」「自然の教室（2年）」の取組を通しての相互理解・尊重
- 2～3月 「卒業証書授与式」に向けた取組を通しての相互理解・尊重



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

大宮西中学校



創造する生徒(かしこく)

** 学校教育目標 ** 心豊かな生徒(ゆたかに)
鍛える生徒(たくましく)の育成

** 基本理念 ** 教育は信頼と愛情の上に成立する

** 学校経営方針 ** 『あい』をつなげる教育活動の推進

愛情と信頼に支えられた 夢と希望を育み 成長する学校 (3つのG で成長する学校)

○子どもたちが、粘り強く学び**合い**、互いを認め**合い**、成長する学校

○教師が情熱とプロ意識をもち、互いに支え**合い**、「チーム大宮西中」として実践する活気ある学校

○コミュニティ・スクールとして、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、連携・協力し信頼し**合う**開かれた学校



■所在地：さいたま市西区三橋 6 丁目 1 5 5 8 番地 ■電話：048-624-4339
■FAX：048-624-2132 ■交通：J R 西大宮駅から徒歩 15 分

01 学校全体で取り組む、国際性・社会性の育成



生徒会を中心に学校全体で持続可能な世界を創るための取り組みを行っています。各委員会が目標を設定し、それぞれの立場から、目標達成に向けた活動を行っています。

*** 各委員会の掲げる中心的な目標 ***

学級	体育	給食	保健	環境美化	掲示	図書	放送	緑化
10・16	3	2	3・6	6・11	4・11	4	4・11	13・15
・平和 ・平等 ・自治活動	・健康 ・体力	・食育	・健康 ・安全 ・衛生	・環境 ・節約 ・衛生	・UD ・学習意欲	・読書 ・文化	・広報 ・情報発信	・緑化 ・環境 ・資源



給食委員会では残菜量を調べ、食品のロスを改善するために月ごとの残菜量をグラフ化し電子掲示板に表示するなど、啓発活動を行っています。

また、保健委員会と環境美化委員会では協働でトイレや水道場に掲示をするなどして、啓発活動や衛生面の保全活動を行っています。



02 教科での取組



各教科の特性を生かし、授業の中で活動の推進をしています。例えば、家庭科の授業では、「自然に優しい住居生活」「クリーンエネルギーについて」等、生徒が SDGs について各自で考えたテーマに沿って調べ学習を行い、発表し合うことで、SDGs への理解と意識の向上をねらいました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では、SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
宮前中学校

＜学校教育目標＞
力強く生き抜く生徒の育成



■所在地：さいたま市西区宮前町 1467-1 ■電話：048-623-7381
■FAX：048-624-2133 ■交通：JR 日進駅から徒歩 10 分

01 生徒が主体的に取り組む授業の実践



本校では、各教科等の授業において、ICT を効果的に活用することで、生徒が主体的に学習に取り組めるような授業実践を行っています。この取組を基盤とし、3年生の総合的な学習の時間では、SDGs の17の目標から各自が1つを選び探求し、世界各国の実態や取組等を発表し合うことで、国際理解を深めています。



02 心の教育の充実



本校では、道徳の授業において、生徒がより多様な考えや価値観を身に付けられるよう、学年教員がローテーションを組んで授業実践を行っています。また、生徒会活動では、「校則見直し検討委員会」の活動や、各専門委員会では上級生が中心となり、生徒自身がより豊かな学校生活を送るために活動しています。さらに、生徒の学校生活や心の健康を守るため、いじめ防止の取組や教育相談週間の設定等、生徒指導・教育相談体制の強化に努めています。こうした活動を通して、SDGs の目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標10「人や国の不平等をなくそう」、目標16「平和と公正をすべてのひとに」に貢献していきたいと考えています。

03 地域とつながる学校



本校では、生徒が地域社会の一員としてボランティア活動などの社会参画を推進しています。具体的には、生徒会が主体となり、番場公園の環境整備、西区避難所開設訓練参加、公民館での高齢者触れ合い体験、日進七夕祭りへの参加を行っています。また、本校 PTA は、地域の方の御協力をいただき、資源回収を行っています。こうした活動を通して、SDGs の目標7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」、目標11「住み続けられるまちづくりを」、目標15「陸の豊かさを守ろう」に貢献していきたいと考えています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



学校教育目標

「ひと」とともに生きる生徒の育成

＜具体目標＞確かな考え・深い思いやり・高い意欲

創立70年を迎え、目指す学校像を「古くて新しい植竹中の創造」、学校経営方針を「継承と創造」「凡事徹底」とし、これまでの歴史と伝統を継承しつつ、新たな創造に向けてチャレンジしています。



■所在地：さいたま市北区土呂町352

■電話：048-663-2115

■FAX：048-665-6377

■交通：JR 宇都宮線土呂駅西口から 徒歩 7分

01 SDGs を深める授業実践と生徒会組織の取組



社会科の公民的分野「私たちと国際社会の諸課題」の内容において、授業でレポートの作成を行います。内容は17のゴールについて各国、各企業等の取り組みを調べ、自分自身にできることを考えるというものです。また、生徒会を中心とした各専門委員会において、活動目標を17のゴールに関連したものに設定します。これらの取組を通して、グローバルな視点を持ち、自分ができる、身近なことから世界に貢献する意識を育てていきたいと考えています。

02 国際交流を通じた他国とのつながり



3年生の総合的な学習の時間において、国際理解教育を進め、各クラスに地域に住んでいる外国人の方を



招き、他国の文化や情勢について話を聞いたり、体験をしたりするなど交流を深めています。また、交流からお互いにどのようにすれば世界に貢献できるかを考えています。別の授業では、講話だけではなく疑似体験等を行うことで、世界の飢餓を世界的問題と捉え、「今自分にできること」をグループで考えています。これらの体験を通して、世界に貢献する意識を育てていきたいと考えています。

03 福祉体験を通じた地域への貢献



1年生の総合的な学習の時間において、福祉教育に取り組み、街のバリアフリーや障害者の方々



の目線に立った問題点等を話し合います。障害者歩行体験や車椅子体験等を通して、街の不便なところを知り、改善点を考えたり、校外学習において実際に街に出て、話し合った問題点を検証したりするなど、人々が住みやすい街について考えています。これらの体験を通じて地域に貢献する意識を育てていきたいと考えています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
土屋中学校



<p>＜学校教育目標＞</p>	<p>「夢に向かって」 ～自分の将来に夢や希望を持って生活できる生徒の育成～</p>	
<p>＜目標とする学校像＞</p>	<p>＜希望あふれる学校＞ ・生徒が輝く学校 ・生徒を育む学校 ・活気のある学校</p>	
<p>＜目標とする生徒の姿＞</p>	<p>＜ひろい心、すこやかな体、ゆたかな創造力＞ ・自他のよさがわかる生徒 ・明るくたくましい生徒 ・支え合い高め合う生徒</p>	
<p>■所在地：さいたま市西区大字土屋 1 7 6 6 - 1 ■電話：048-622-4611 ■FAX：048-624-2135 ■交通：JR 川越線指扇駅徒歩 15 分</p>		

01 17の目標に対する生徒の主体的な取組



本校3学年では、総合的な学習の時間に「世界に生きる私たち～共通のゴールへ向けて～」というテーマのもと、「朝日SDGsジャーナル」などの新聞記事から、SDGsに関する課題を設定し、個人で論文作成、発表を行いました。論文では、児童労働、ジェンダー問題などそれぞれが関心をもった内容を、新聞記事に載っている以外で起こっていることや行われている取組について紹介するとともに、自分たちが個人や学校単位で今すぐできる取組について述べました。感想では、「今まで考えたことなかったが自分事として捉えられるようになった。」「他人事ではなく、世界が協力し合うことで目標を達成できるようにすべき。」「日本の私たちも地球市民の一員としての本当の考え方に至ることができると思いました。」などが書かれていました。また、代表者の論文や生徒の感想、生徒たちが実際に行っている取組内容を図書館に掲示することで、他学年の生徒や教員、保護者に対して啓発活動を行っています。

は、児童労働、ジェンダー問題などそれぞれが関心をもった内容を、新聞記事に載っている以外で起こっていることや行われている取組について紹介するとともに、自分たちが個人や学校単位で今すぐできる取組について述べました。感想では、「今まで考えたことなかったが自分事として捉えられるようになった。」「他人事ではなく、世界が協力し合うことで目標を達成できるようにすべき。」「日本の私たちも地球市民の一員としての本当の考え方に至ることができると思いました。」などが書かれていました。また、代表者の論文や生徒の感想、生徒たちが実際に行っている取組内容を図書館に掲示することで、他学年の生徒や教員、保護者に対して啓発活動を行っています。

02 「誰もが住みやすい街づくり」



本校 2 学年では、総合的な学習の時間に「日本に学ぶ」というテーマのもと、「誰もが住みやすい街づくり」を中心に、

それぞれが課題を考え、課題解決の方法を探し、班ごとに発表を行いました。Pepper を活用した授業では、人に寄り添うことができるロボットのプログラムを作成し、実際に動かすという体験をしました。自分たちができること、自分達だからできることを考える学習を行いました。



03 地球全体の環境問題



本校 1 学年では、国語の授業で現在地球規模で課題となっている気候変動や環境問題について触れ、17 つの持続可能な開発目標について学習を進めました。総合的な学習の時間では、朝日新聞が発行している「朝日SDGsジャーナル」の記事をもとに世の中で行われている取組について学習したり、どの目標と結びつくものであるのかを考えたりする学習を行い、持続可能な開発目標への考えを深めました。感想では「私たちの身近なものがたくさん SDGs の取組に関係していると分かった。」などと書いてあり、新しい物事の見方に気付くことができた様子を見ることができました。